

『日本語学 研究と資料』第 47 号 投稿規定

下記の要領で、『日本語学 研究と資料』第 47 号の掲載論文を募集いたします。

1. 投稿資格

一般正会員、学生正会員が、論文を投稿する資格を有するものとする。ただし、投稿論文以外の依頼原稿等の場合は、その限りではない。

2. 論文の書式

(1) 文字数・行数

- ・横書きで執筆の場合：本文 1 行 36 字（明朝体・12 ポイント）。
1 ページ 37 行。
- ・縦書きで執筆の場合：本文 1 行 28 字（明朝体・12 ポイント）。
1 段 24 行の 2 段組（段間 3 字あけ）。

(2) その他の書式

- ・表題：原則として明朝体・16 ポイント，本文 1 ページ 1 行目に。副題の文字のフォント等は，任意とする。
- ・氏名：原則として明朝体・14 ポイント，表題・副題から 1 行あける。
- ・キーワード：【キーワード】と表示し，5 語程度，文字のフォント等は本文と同様。氏名から 2 行あける。
- ・注，参考文献等は，明朝体・11 あるいは 12 ポイント。
- ・ページは挿入しない（郵送の場合は，裏面に鉛筆書き）

(3) 注，参考文献等を含んだ全体を 12 ページ程度とする。「研究ノート」「資料集」等，ページの増減の見込まれるものは別途相談のこと。論文についても，検討会で認められた場合は，ページの増加を可とする。

(4) 本文末尾に，執筆者氏名（かな）と所属を（ ）内に明記のこと。縦書きの場合は下寄せ，横書きの場合は右寄せ。原則として明朝体，ポイント数は任意。

(5) プリントアウトした原稿は，A4 判の用紙を使用。版面（余白を除く用紙中央部の本文スペース）は縦 23cm，横 15cm を目安とする。

3. 原稿の送付方法

- ・第 1 次締め切り：原則として，データを E メールに添付して送る。
- ・最終締め切り：原則として，データを E メールに添付して送る。

※投稿論文以外の依頼原稿の場合等には，電子データ以外の原稿を受け付けることがある。その場合は，①プリントアウトした原稿と，②Word で作成したデータファイルを保存した CD を同封すること。

※最終締め切りでは、論文検討会のコメントを受けて修正を施した報告文も添付すること。

4. 第1次締め切り

2023年11月15日

検討会用の原稿の締め切り。ここで提出しなかった場合、検討会での批評を受けられず、最終的な論文提出の資格も失うので注意すること。

5. 検討会の実施

投稿論文に査読は設けないが、執筆者と会員による検討会を実施する。執筆者は検討会で批評された内容を受けて、論文を修正することができる。ただし、投稿論文以外の依頼原稿等の場合には、検討会を経ずに掲載することができる。

具体的な手順は以下の通りである。

- (1) 第1次締め切りで応募された投稿論文のホームページでの開示
 - ・検討会に参加できない会員からも、投稿論文に関するコメントをメールで受け付ける。
- (2) 検討会の開催：2023年12月上旬～中旬
 - ・参加できるのは会員のみ。
 - ・執筆者は、事前にコメンテーターを2名程度依頼しておく。
 - ・海外在住など、やむを得ない事情によって執筆者が検討会に来られない場合には、SkypeやWeChatによる参加、Wordのコメント機能等に対応する。

6. 最終締め切り

2024年2月末日 ※最終提出後、校正は一切ないので注意すること。

7. 著作権について

『日本語学 研究と資料』に掲載された論文の著作権は著者に帰属するものとする。ただし、日本語学 研究と資料の会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態で公開する権利を有することとする。

原稿提出先（封筒に「原稿在中」と明記のこと）

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-21-1

早稲田大学大学院日本語教育研究科 蒲谷宏研究室

kenkyutosiry@gmail.com

検討会の正式な日程は、後日メーリングリスト、およびホームページにてお伝えいたします。ご不明な点はEメールまたは郵便にてお尋ねください。